

総合衛生管理サービス
を全国展開する赤門ウイ
レックス(社長 山田幸
司氏、本部・愛知県長久
手市)の2020年9月
期上期(2019年10月
〜2020年3月)業況
は、改修・解体工事の際
のアスベスト処理工事、
独自の空調ダクト清掃技
術「IAQ(Air Quality
ty)工法」をはじめと
する主力ソリューション
が堅調な推移を示し、「概
ね前年同期並みの実績を
確保できた」(古井和彦専
務)とする。取り分け、
アスベスト処理工事につ
いては大口の成約が複数
あり、これが上期実績を
押し上げた。

工場維持管理、厨房メン
テナンス、衛生設備メン
テナンス、クリーンエリ
ア環境管理、アスベスト
対策、ペストコントロール、
建築・設備工事、各
種検査・測定・調査など
多岐に渡る。空調関連ソ
リューションでは空調ダ
クトのクリーニングをは
じめ、冷却塔・冷凍機・
空調機のメンテナンスな
ど現場に密着したコンテ
ンツが特徴だ。空調ダク
トのクリーニングは室内
空気環境の向上に欠かせ
ないものだが、ほかにも
エアハンドリングユニッ
ト、天カセ室内機、高所

設置の空調機、ドレン管
詰まり対策、フィルター
交換、断熱材交換などに
も対応している。
顧客サービスの一環で
例年3月から4月につ
て東京、名古屋、大阪、
福岡で行ってきた「食品
工場の衛生セミナー」は、
「第22回インターフェッ
クスWeek東京」(11月
25日〜27日、幕張メッ
セ)などを視野に入れて
おり、「今後の状況を見な
がら(出展可否の)判断
をしていきたい」(山田常
務)とした。

門ス
ク
レ
ッ
ク
イ
赤ウ

上期、堅調に前年実績を確保

多様な問題解決型提案で市場深耕

ては継続を確定させてい
る。古井専務は「お客さ
まの状況を見守りなが
ら、今後さらにどのよう
な形で影響が出てくるか
を注視する」と話す。

同社は食品メーカー、
自動車メーカー、医薬品
メーカーの製造現場から
建築会社、設備会社の現
工場設備維持管理、製造

今年はコロナ禍で延期を
余儀なくされた。PM事
業部副事業部長で常務取
締役の山田晃也氏は「開
催を望まれるお客さまの
お声を多く頂戴してお
り、9月以降、年内をメ
ドに開催できるよう検討
を進めている」としてい
る。プロモーションの場
としてこれまで前向きに
取り組んできた展示会出
展についても「フッドフ
アクトリー2020」(10
月7日〜9日、東京ビッ
グサイト青海展示棟)、
「第22回インターフェッ
クスWeek東京」(11月
25日〜27日、幕張メッ
セ)などを視野に入れて
おり、「今後の状況を見な
がら(出展可否の)判断
をしていきたい」(山田常
務)とした。

下期については「(コ
ロナ禍の影響は)お客さ
まによって度合いが異な
る。当社としては引き続
きしっかりとサポートさ
せていただく」(古井専
務)と話す。25日の緊急
事態宣言全国解除を受
け、赤門ウイレックス
は、アフターコロナのサ
ービス戦略を描く。